			2023年度 和泉短	期天学 ンフハス			
授業科目名	保育内容の総合的指導法「環境」		# 5 - 5				
科目ナンバー	ш-6-2-2 ③			教員氏名	松山洋平		
学年	2年			開講学期	前期		
授業形態	演習			単位数	1単位		
必修∙選択	保育士·幼免必修 実務経験 幼稚園教諭			9年			
	乳幼児期に育みたい資質・能力の理解に基づき、保育所保育指針・幼稚園教育要領に示された保育内容「環境」のねらい及び内容の指導法を理解する。						
ディプロマ	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。						
	3.保育•福祉の	の専門職	哉として多世代にわたる人々の	の権利を護り、愛と奉	受性の精神を実践できる。		
	科目群 教養		キリスト教主義の精神を踏ま する	まえて、保育と人権に	かかわる人としての価値観を再構築		
カリキュラム	科目群		様々な世代を支える社会の 人間観を養う	理念・仕組みについ	ての学びを通して、愛と奉仕に基づく		
ポリシー	科目群〕 知識・技		子どもの心と体とそれを取り と方法に関する専門的な知		こ成長するための様々な支援の内容る	0	
	科目群] 実践		学んだ知識、技能、価値観な ア形成の基礎を培う	を現場に即して臨機の	む変に実践できる体験を積み、キャリ		
授業の概要	・保育環境について様々な具体的な資料を通して学び、子どもにとってふさわしい環境について学び、環境の側面から見た遊びの展開の方法を知る。 ・子どもの育ちと、年齢に応じた環境への関わりを理解し、保育環境の構成や保育者の役割について、具体的な場面を通じて実践的に学ぶ。地域の保育所や子育て支援のニーズを調査し、ALとして課題解決学習に取り組む。・実際に自然や身の回りにある素材を用いた遊びを体験することを通して、子どもが環境にかかわって遊ぶことの意味を知り、保育の計画を立案する。 ・保育者としての実務経験をもとに具体的な演習と理論とを組み合わせて指導法について授業を展開する。						
授業の	・乳幼児期に育みたい資質・能力の理解に基づき、要領・指針に示された保育内容「環境」のねらい及び内容を理解し、具体的な保育場面を想定して保育内容を展開する方法を身に付ける。 ・子ども個々の発達や学びの過程を理解し、実際に環境と関わる子どもの姿を理解する方法について学ぶ。						
到達目標	・子とも過々の発達や子びの過程を理解し、実際に環境と関わる子ともの要を理解する方法に りいて子ぶ。 ・子どもを取り巻く環境の重要性について、広義な側面と直接的・具体的に関わる身近な環境の側面とを共に理解し、子どもの生活にふさわしい保育を組み立てていくことを学ぶ。						
		巻く環境	竟の重要性について、広義な	:側面と直接的・具体		理解	
テキスト	し、子どもの生)巻く環り 生活にふ	竟の重要性について、広義な	側面と直接的・具体いくことを学ぶ。	的に関わる身近な環境の側面とを共に	理解	
. , , , ,	し、子どもの生	J巻く環 生活にふ 境 あな	竟の重要性について、広義な さわしい保育を組み立ててい	側面と直接的・具体 いくことを学ぶ。 ‡幸子ほか 萌文書本	的に関わる身近な環境の側面とを共に	理解	
参考書	し、子どもの名 『保育内容環 保育所保育指	リ巻く環境 生活によ 境 あな 旨針・幼れ	竟の重要性について、広義な さわしい保育を組み立ててい たならどうしますか?』(酒井	側面と直接的・具体、くことを学ぶ。 中幸子ほか 萌文書を る定こども園教育・保	的に関わる身近な環境の側面とを共に	理解	
参考書ポートフォリオ	し、子どもの生 『保育内容環 保育所保育指 指定された課	J巻く環境 生活によ 境 あな 旨針・幼科	竟の重要性について、広義なさわしい保育を組み立てていたならどうしますか?』(酒井)性園教育要領・幼保連携型認	側面と直接的・具体いくことを学ぶ。 中幸子ほか 萌文書を 認定こども園教育・保	的に関わる身近な環境の側面とを共に 木) 育要領	理解	
参考書ポートフォリオ	し、子どもの会 『保育内容環 保育所保育指 指定された課 授業内での疑	リ巻く環境 生活にふ 境 あな 旨針・幼科	竟の重要性について、広義なさわしい保育を組み立てていたならどうしますか?』(酒井唯園教育要領・幼保連携型記り組み、ポートフォリオに綴じ	側面と直接的・具体いくことを学ぶ。 幸子ほか 萌文書を認定こども園教育・保る	的に関わる身近な環境の側面とを共に 木) 育要領 授業内で明確にする		
参考書ポートフォリオ	し、子どもの名 『保育内容環 保育所保育指 指定された課 授業内での疑 リアクションペ	リ巻く環境 ・ あな ・ 動に取り ・ 記問や、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意の重要性について、広義なさわしい保育を組み立てていたならどうしますか?』(酒井唯園教育要領・幼保連携型記り組み、ポートフォリオに綴じ学びを進める中で生じた不明を用いて、授業内での疑問等	側面と直接的・具体いくことを学ぶ。 中幸子ほか 萌文書を認定こども園教育・保る 目点を、対話を通じて持続を対話形式にて対応	的に関わる身近な環境の側面とを共に 木) 育要領 授業内で明確にする	0	
参考書ポートフォリオ	し、子どもの名 『保育内容環 保育所保育指 指定された課 授業内での疑 リアクションペ リアクションペ める	J巻く環境 生活により 境 あな 指針・幼和 題に取り を問や、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意の重要性について、広義なさわしい保育を組み立てていたならどうしますか?』(酒井唯園教育要領・幼保連携型記り組み、ポートフォリオに綴じ学びを進める中で生じた不明を用いて、授業内での疑問等	個面と直接的・具体 いくことを学ぶ。 幸子ほか 萌文書本 認定こども園教育・保 る 目点を、対話を通じて 等を対話形式にて対応 で授業内で受講者全	的に関わる身近な環境の側面とを共に 木) 育要領 授業内で明確にする むする	0	
参考書ポートフォリオ	し、子どもの名 『保育内容環 保育所保育指 指定された課 授業内での疑 リアクションペ リアクションペ める	J巻く環境 生活により 境 あな 指針・幼和 題に取り を問や、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意の重要性について、広義なさわしい保育を組み立てていたならどうしますか?』(酒井 性園教育要領・幼保連携型語 り組み、ポートフォリオに綴じ 学びを進める中で生じた不明 を用いて、授業内での疑問等 の内容やテーマをICTを用い	個面と直接的・具体 いくことを学ぶ。 幸子ほか 萌文書本 認定こども園教育・保 る 目点を、対話を通じて 等を対話形式にて対応 で授業内で受講者全	的に関わる身近な環境の側面とを共に 木) 育要領 授業内で明確にする むする	0	
参考書ポートフォリオ	し、子どもの名 『保育内容環 保育所保育指 指定された課 授業内での別 リアクションペリアクションペ 実際に保育 その他:	J巻く環境 生活により 境 あな 指針・幼和 題に取り を問や、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意の重要性について、広義なさわしい保育を組み立てていたならどうしますか?』(酒井 性園教育要領・幼保連携型語 り組み、ポートフォリオに綴じ 学びを進める中で生じた不明 を用いて、授業内での疑問等 の内容やテーマをICTを用い	個面と直接的・具体 いくことを学ぶ。 幸子ほか 萌文書本 認定こども園教育・保 る 目点を、対話を通じて 等を対話形式にて対応 で授業内で受講者全	的に関わる身近な環境の側面とを共に 木) 育要領 授業内で明確にする むする 全員に公開・共有し、往還的理解を深 当たる	0	
参考書ポートフォリオ	し、子どもの名 保育内容環保育所保育 おれた 関リアクションペ 実のの 分 実際の の 分 実際の の 分 験	J巻〈環 ま活に は は は は は は は	意の重要性について、広義なさわしい保育を組み立てていたならどうしますか?』(酒井 性園教育要領・幼保連携型語 り組み、ポートフォリオに綴じ 学びを進める中で生じた不明 を用いて、授業内での疑問等 の内容やテーマをICTを用い	側面と直接的・具体いくことを学ぶ。 中幸子ほか 萌文書本 認定こども園教育・保る 目点を、対話を通じて 手を対話形式にて対応て授業内で受講者全	的に関わる身近な環境の側面とを共に 木) 育要領 授業内で明確にする むする 全員に公開・共有し、往還的理解を深 当たる	0	
参考書ポートフォリオ	し、子どもの名 『保育内容環 保育所保育指 指定された課 授業内でのションペ リアクションペ 実際に保育 その他: 区分	J巻〈環 ま活に 境 あな 指針・幼和 と は は は に 取 に 取 に れ 、 に れ 、 に れ 、 に れ 、 に れ 、 に れ 、 に れ に れ に れ に れ に れ に れ に に れ に に れ に に に れ に に に に に に に に に に に に に	意の重要性について、広義ないさわしい保育を組み立てていまたならどうしますか?』(酒井) 推園教育要領・幼保連携型記 り組み、ポートフォリオに綴じ 学びを進める中で生じた不明を用いて、授業内での疑問等の内容やテーマをICTを用いて支援に関わり、調査をもと 実施しない 授業内評価。 小テスト・各国に ファスト・各国 マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	側面と直接的・具体、いくことを学ぶ。 中幸子ほか 萌文書本 認定こども園教育・保る 目点を、対話を通じて 手を対話形式にて対応で授業内で受講者全 に問題解決学習に当	的に関わる身近な環境の側面とを共に 材) 育要領 授業内で明確にする むする 全員に公開・共有し、往還的理解を深 当たる	0	

授業概要と課題				
第1回	テーマ 内容	オリエンテーション・保育内容「環境」の指導法とは		
#TE	授業外学習	<予習>授業の概要を確認し、自身の身の回りの環境に関心をもつ。次回の授業内容について事前学習を行う。	55分	
テーマ内容		乳幼児期に育てたい資質・能力(保育の基本)と保育内容「環境」		
第2回	授業外学習	<復習>テキスト2章と配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。	55分	
第3回	テーマ 内容	環境による保育の考え方と個々の子どもへの理解		
売 り凹	授業外学習	<復習>学習した内容に基づき、保育内容「環境」と子どもへの理解を振り返る。	55分	
第4回	テーマ 内容	子どもの園での生活(遊び)と領域「環境」の関係(1)乳児・幼児・小学校との接続		
先4回	授業外学習	<復習>テキストと配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。	55分	
第5回	テーマ 内容	子どもの興味・関心と環境構成の関係(情報機器及び教材の活用の考え方を含む)		
先り凹	授業外学習	<復習>テキストと配布資料に基づき、子どもの興味・関心と環境構成について学習した内容を振り返る。	55分	
テーマ内容		遊びを展開する保育者の関わり〔フィールドワーク〕		
第6回	授業外学習	<復習>テキストと配布資料に基づき、遊びを展開する際の保育者の関わりについて学習した内容を振り返る。	55分	
第7回	テーマ 内容	子どもの発達と教材研究・指導案・模擬保育と評価の関係(1)長期的な計画(道具・素材の扱い節・行事)	\•季	
第7 四	授業外学習	<予習>教材研究を行うにあたり、身近な環境に興味・関心を持つようにする。	55分	
第8回	テーマ 内容	子どもの発達と教材研究・指導案・模擬保育と評価の関係(2)短期的な計画(子どもの遊びの原への手立て)	展開・次	
⋦∘凹	授業外学習	<予習>教材研究を行うにあたり、身近な環境に興味・関心を持つようにする。	55分	
笠の同	テーマ 内容	子どもの理解に応じた環境構成案の作成		
第9回	授業外学習	<復習>テキストと配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。 <予習>事前準備として、実習日誌を読み返しておく。	55分	

第10回	テーマ 内容	環境に関わる子どもの理解と保育記録(写真を用いた記録の実践・情報機器及び教材の活用) ンテーション)	(プレゼ
	授業外学習	<復習>テキストと配布資料、実習日誌に基づき、学習した内容を振り返る。	55分
第11回	テーマ 内容	教材研究・模擬保育と評価(フィールドワーク)	
	授業外学習	<復習>配布資料に基づきフィールドワークに臨み、学習した内容を振り返る。	55分
第12回	テーマ 内容	子どもを取り巻く「環境」の理解と保育実践方法との関係(フィールドワーク)	
	授業外学習	<復習>配布資料に基づきフィールドワークに臨み、学習した内容を振り返る。	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ、これまでの学びを振り返る	
	授業外学習	<復習>保育内容の総合的指導法「環境」の授業を通して、子どもの育ちを支える環境について総括する。	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポートは、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。

			2023年度 和泉短	期大学 シラバス			
授業科目名	保育内容の総合的指導法「環境」		教員氏名	吉田久仁子			
科目ナンバー		Ш-	Ⅲ-6-2-2 ③				
学年	2年			開講学期	後期		
授業形態	演習 単位数 1単位						
必修·選択	保育士·幼免必修 実務経験 幼稚園教諭·保育士			26年			
テーマ	乳幼児期に育みたい資質・能力の理解に基づき、保育所保育指針・幼稚園教育要領に示された保育内容「環境」の ねらい及び内容の指導法を理解する。						
			基礎的な学修を通して、幅反 を理解している。	ない教養を身に付け	、多様な人々を支える社会の理念・仕	0	
ディプロマ ポリシー	2.保育・福祉 いる。	の専門的	つな知識・技能を修得し、思考	うけい きゅう かいまま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かい	コ、コミュニケーションカを身に付けて	0	
	3.保育•福祉	の専門職	ばとして多世代にわたる人々(の権利を護り、愛と	奉仕の精神を実践できる。		
	科目群 教養		キリスト教主義の精神を踏まする	ŧえて、保育と人権!	こかかわる人としての価値観を再構築		
カリキュラム	科目群 原理		様々な世代を支える社会の 人間観を養う	理念・仕組みについ	ての学びを通して、愛と奉仕に基づく		
ポリシー	科目群 知識・技				こ成長するための様々な支援の内容 る	0	
	科目群実践	IV			応変に実践できる体験を積み、キャリ		
授業の概要	ら見た遊びの展開の方法を知る。 ・子どもの育ちと、年齢に応じた環境への関わりを理解し、保育環境の構成や保育者の役割について、具体的な場面を通じて実践的に学ぶ。地域の保育所や子育て支援のニーズを調査し、ALとして課題解決学習に取り組む。 ・実際に自然や身の回りにある素材を用いた遊びを体験することを通して、子どもが環境にかかわって遊ぶことの意味を知り、保育の計画を立案する。 ・保育者としての実務経験をもとに具体的な演習と理論とを組み合わせて指導法について授業を展開する。					ご。 ことの意	
l= 114	・乳幼児期に育みたい資質・能力の理解に基づき、要領・指針に示された保育内容「環境」のねらい及び内容を理解し、具体的な保育場面を想定して保育内容を展開する方法を身に付ける。						
授業の 到達目標	・子ども個々の発達や学びの過程を理解し、実際に環境と関わる子どもの姿を理解する方法について学ぶ。						
	・子どもを取り巻く環境の重要性について、広義な側面と直接的・具体的に関わる身近な環境の側面とを共に理解し、子どもの生活にふさわしい保育を組み立てていくことを学ぶ。						
テキスト	『保育内容環境 あなたならどうしますか?』(酒井幸子ほか 萌文書林)						
参考書	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領						
ポートフォリオ	指定された説	課題に取	り組み、ポートフォリオに綴じ	る			
	授業内での疑	疑問や、	学びを進める中で生じた不明	点を、対話を通じて	授業内で明確にする	0	
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する						
往還型授業 (双方向授業)	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める						
	実際に保育所や子育て支援に関わり、調査をもとに問題解決学習に当たる						
	その他:						
	区分	割合(%)		内	容	•	
	定期試験	0	実施しない				
成績評価方法	授業内課題 参加度 出席態度等 100 授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、ワークシートの作成も含む。)						
	その他	0	なし				

授業概要と課題				
第1回	テーマ 内容	オリエンテーション・保育内容「環境」の指導法とは		
#TE	授業外学習	<予習>授業の概要を確認し、自身の身の回りの環境に関心をもつ。次回の授業内容について事前学習を行う。	55分	
テーマ内容		乳幼児期に育てたい資質・能力(保育の基本)と保育内容「環境」		
第2回	授業外学習	<復習>テキスト2章と配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。	55分	
第3回	テーマ 内容	環境による保育の考え方と個々の子どもへの理解		
売 り凹	授業外学習	<復習>学習した内容に基づき、保育内容「環境」と子どもへの理解を振り返る。	55分	
第4回	テーマ 内容	子どもの園での生活(遊び)と領域「環境」の関係(1)乳児・幼児・小学校との接続		
先4回	授業外学習	<復習>テキストと配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。	55分	
第5回	テーマ 内容	子どもの興味・関心と環境構成の関係(情報機器及び教材の活用の考え方を含む)		
先り凹	授業外学習	<復習>テキストと配布資料に基づき、子どもの興味・関心と環境構成について学習した内容を振り返る。	55分	
テーマ内容		遊びを展開する保育者の関わり〔フィールドワーク〕		
第6回	授業外学習	<復習>テキストと配布資料に基づき、遊びを展開する際の保育者の関わりについて学習した内容を振り返る。	55分	
第7回	テーマ 内容	子どもの発達と教材研究・指導案・模擬保育と評価の関係(1)長期的な計画(道具・素材の扱い節・行事)	\•季	
第7 四	授業外学習	<予習>教材研究を行うにあたり、身近な環境に興味・関心を持つようにする。	55分	
第8回	テーマ 内容	子どもの発達と教材研究・指導案・模擬保育と評価の関係(2)短期的な計画(子どもの遊びの原への手立て)	展開・次	
⋦∘凹	授業外学習	<予習>教材研究を行うにあたり、身近な環境に興味・関心を持つようにする。	55分	
笠の同	テーマ 内容	子どもの理解に応じた環境構成案の作成		
第9回	授業外学習	<復習>テキストと配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。 <予習>事前準備として、実習日誌を読み返しておく。	55分	

第10回	テーマ 内容	環境に関わる子どもの理解と保育記録(写真を用いた記録の実践・情報機器及び教材の活用) ンテーション)	(プレゼ
	授業外学習	<復習>テキストと配布資料、実習日誌に基づき、学習した内容を振り返る。	55分
第11回	テーマ 内容	教材研究・模擬保育と評価(フィールドワーク)	
	授業外学習	<復習>配布資料に基づきフィールドワークに臨み、学習した内容を振り返る。	55分
第12回	テーマ 内容	子どもを取り巻く「環境」の理解と保育実践方法との関係(フィールドワーク)	
	授業外学習	<復習>配布資料に基づきフィールドワークに臨み、学習した内容を振り返る。	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ、これまでの学びを振り返る	
	授業外学習	<復習>保育内容の総合的指導法「環境」の授業を通して、子どもの育ちを支える環境について総括する。	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポートは、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。